



かわさき 消防かわら版

平成30年
10月号

～秋の火災予防運動～(11月9日～11月15日)



平成30年1月1日から平成30年9月30日現在の
川崎消防署管内で発生した火災原因をお知らせします。

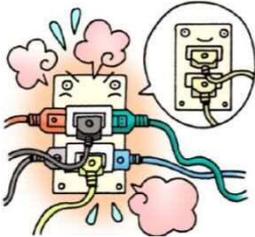


第1位 たばこ による火災 7件



- 寝たばこはしない、させない。
 - 灰皿の吸殻は、こまめに捨てる。
 - 灰皿の周囲に、可燃物を置かない。
 - 吸殻は、完全に消してから捨てる。
 - 火のついた、たばこを灰皿に置いたままだにしない。
- ※住宅火災での逃げ遅れによる死者の発生防止に向けて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理をしっかりとしましょう。

第2位 電気 による火災 4件



- 古いコードや傷んだコードは、ショートしやすいので取り替える。
- たこ足配線で、同時に多くの器具を使用しない。
- トラッキング火災を防ぐため、コンセント周りを掃除する。
- 器具使用後は、必ずスイッチを切りコードをコンセントから抜く。

第3位 放火 による火災 3件

放火防止5つのポイント

- ① 家の周りは整理整頓し、新聞等の燃えやすい物を置かない。
- ② 家の周りや駐車場は、外灯などを付けて明るくする。
- ③ 車庫、物置などは必ずカギを掛ける。
- ④ ゴミは決められた収集日の朝に出す。
- ⑤ 車やバイクには防災製品のボディーカバーを使う。



燃えやすい物を
放置しない。

ボディーカバーは
防災性のものに。

家のまわりは
明るく。

車庫にもカギを
つけるように。

※放火火災を防止するために、「放火されない・させない」環境づくりに取り組みましょう。